

科目名		授業形態	担当教員名	
視能障害学Ⅱ		講義	宮崎 茂雄	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
【視能障害学Ⅱ】では視機能に重大な影響を持つ後眼部疾患や、全身疾患に合併する眼疾患などの病態生理が説明できることを目的とします。これらの病態生理が確実に把握できていることで、眼科疾患の診断と治療評価のための眼科検査の意義の理解が明確になり、視能訓練士としてのレベルの高い業務が行えるようになります。				
授業の到達目標				
①眼球の解剖・生理と関連付けて、後眼部疾患の病態生理が理解できる。 ②後眼部疾患の診断や治療評価に、視能訓練士が行った検査結果がどのように役立てられるのかが理解できる。				
授業計画				
回	内容			
1	ぶどう膜疾患（1） 先天異常、ぶどう膜炎（総論）			
2	ぶどう膜疾患（2） ぶどう膜炎（各論）、腫瘍			
3	網膜硝子体疾患（1） 主な眼底変化			
4	網膜硝子体疾患（2） 網膜循環障害（網膜中心動脈脈閉塞症、ほか）			
5	網膜硝子体疾患（3） 黄斑部疾患（加齢黄斑変性、ほか）			
6	網膜硝子体疾患（4） 夜盲性疾患、小児網膜疾患			
7	網膜硝子体疾患（5） 網膜剥離、硝子体疾患			
8	網膜硝子体疾患（6） 治療法（光凝固、硝子体手術、硝子体注射）			
9	眼窩疾患 甲状腺眼症、眼窩吹き抜け骨折、ほか			
10	全身疾患と眼（1） 循環器系疾患、糖尿病、ほか			
11	全身疾患と眼（2） 膠原病と近縁疾患、感染症、ほか			
12	眼外傷 鈍的眼外傷、外傷性視神経症、ほか			
13	その他の眼疾患（1） 神経眼科疾患			
14	その他の眼疾患（2） 色覚異常、屈折異常、救急疾患、ほか			
15	総括			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	100%	定期試験のみで評価します。		
レポート・課題				
小テスト		理解度のセルフチェックのため小テストを講義ごとに実施します。		
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
病気がみえる vol.12 眼科		医療情報科学研究所 編	メディックメディア	
視能学 第3版		小林義治 他編	文光堂	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
なし				
自由記載				
備考				